

環境学習会 in 東小学校

「生物多様性の大切さ～長久手市の自然を通じて～」

東小学校の4年生の総合的な学習の時間を活用し、名古屋大学大学院の長谷川明子先生にお越しいただき、生物多様性の大切さについて、環境学習会を実施しました。



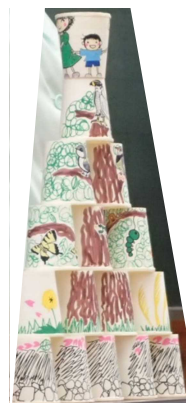
日時: 令和6年7月5日(金曜日)9時25分～10時25分 場所: 東小学校 天気: 晴れ

講師: ^{はせがわ あきこ}長谷川 明子先生(名古屋大学大学院環境学研究所特任教授、1級ビオトープ計画管理士)

東小＝生物多様性ホットスポット

「生物多様性ホットスポット」とは、世界で最初に守るべき、生物学的に特別豊かな場所のことで、その地域にしかない固有植物種が1,500種いるが、原生の自然が70%も失われています。日本もその一つで、今いる東小学校も生物多様性ホットスポットです。

長谷川先生は、生態系のバランスについて、紙コップをピラミット状に組み立てたイメージ図を使って、途中の生物が一つでもかけると、生態系のバランス全体が崩れてしまうことをわかりやすく子どもたちに説明しました。



生態系のイメージ図

生き物たちが崖っぷち

現在、地球上の生物の100万種が絶滅の危機に直面しています。その理由は、4つあります。

1 やり過ぎ

人間の開発により、生き物のすみかが減ってしまう問題

2 やらなさ過ぎ

田畑や里山を管理する人が減って、そこでしか生きていけない生き物が減るなどの問題

3 質の低下

外来種の影響で、これまでいた生き物のすみかを奪ってしまうなどの問題

4 気候変動

地球温暖化の影響で、これまで住んでいた地域に暮らせなくなる問題



外に出る前に準備体操



真剣に色々な植物を観察していました

生き物ビンゴ☆

子どもたちは、校庭散策し、「ギザギザした葉っぱ」や「星形をした葉っぱ」などを探すビンゴゲームに挑戦しました。

最初は、たくさんの種類を見つけられるか心配していた子どもたちが、すぐに色々な形の葉っぱを見つけしていました。普段は素通りをしてしまう植物たちをよく観察していました。

長谷川先生は「探してみると、ないと思っていた形の葉っぱはすぐに見つかる。実際に触ってみたり、よく観察したり、五感を使って、自然を感じてほしい。」とおっしゃいました。



先生と一緒に植物の観察をしています

まとめ

長谷川先生は、「世界は、2050年に自然と共生する社会を目指しています。今、小学4年生のみなさんは、2050年には、社会の中心になる世代です。ぜひ自然についての五感を高めて、将来に生かしてほしい。」と子どもたちにエールを送っていました。



質問のやりとりをする先生と子どもたち